

みえ森と緑の県民税市町交付金事業(のうち、対策区分2:暮らしに身近な森林づくり)の判定例(案)

対策区分2 暮らしに身近な森林づくり

カテゴリ	事業数	市町数
2-1 里山や竹林の整備	13	12
2-2 人家裏や道路沿い等の危険木の除去	5	4
2-3 病虫害被害木の伐倒駆除や防除	4	4
2-4 水源林の公有林化	1	1
2-5 学校林の整備	1	1
2-6 貸し出し用ウッドチップの整備	1	1
2-7 溪流沿いの森林の針広混交樹林化	1	1
	26	

判定の種類とその内容及び点数(例)

判定の種類	内容	点数
A	取組が特に優れており、模範となり得る	3
B	現状の取組みが十分であり、継続が妥当である	2
C	現状の取組みに改善が必要である	1

①. 判定の種類(AまたはBまたはC)を選択して記入する。

②. 判定の種類で「C」を選択した場合に、その内容・理由を記入する。「A」「B」を選択した場合でも、必要に応じてその内容・理由を記入する。

事務局において、10名の委員の点数を合計し、平均値をとる。

$2.5 \leq X \leq 3.0$	⇒ A
$1.5 \leq X \leq 2.4$	⇒ B
$1.0 \leq X \leq 1.4$	⇒ C

↓実績報告を受け、各委員が「評価の視点」毎に評価する。

市町名	市町事業名	評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価	
				判定	特記事項
1 ○○市	◎◎◎事業	有効性		B	
		効率性		B	
		公益性(波及度)		A	
2 ○○市	※※※事業	有効性		B	
		効率性		B	
		公益性(波及度)		B	
3 □□市	□※○事業	有効性		B	
		効率性		B	
		公益性(波及度)		A	
4 △△市	△※○事業	有効性		B	
		効率性		B	
		公益性(波及度)		B	
26 ○△市	◎△□事業	有効性		B	
		効率性		B	
		公益性(波及度)		B	

③. 「事業実施主体コメント」は、市町が作成する事業別実績書から転記する。

④. 点線囲み部分を各評価委員が記載する。

【○○委員】	【□□委員】
判定の点数化	判定の点数化
2	2
2	2
3	3
2	2
2	2
2	2
2	2
2	2
2	2
3	3
2	2
2	2
2	2

平均

点数の平均値(X)	判定
2.2	B
2.3	B
2.6	A
2.1	B
1.9	B
2.0	B
2.0	B
2.2	B
2.9	A
2.1	B
1.8	B
1.6	B
2.1	B
2.3	B
2.4	B

対策区分別・「評価の視点」毎の判定

対策区分2 暮らしに身近な森林づくり	判定		判定
	評価の視点	点数の平均値(X)	
	有効性	2.2	B
	効率性	2.3	B
	公益性(波及度)	2.4	B